

## 高校生が掃海隊群の艦艇を見学



自衛隊静岡地方協力本部浜松出張所（所長・吉将人1等空尉）は2月11日（火）、蒲郡港（愛知県蒲郡市）で行われた海上自衛隊自衛艦隊掃海隊群の艦艇見学に、自衛官志望の高校生2人を引率した。

今回の艦艇見学は、伊勢湾における掃海訓練に併せて行われたもので、参加艦艇の中で最も大きな掃海母艦「うらが」の外観見学、掃海艦「ひらど」、掃海艇「たかしま」「いずしま」の艦内一般公開が行われた。

当日は晴天に恵まれ、岸壁は多くの来場者で賑わった。参加者は、まず掃海艦「ひらど」に乗艦して海中の機雷を除去する掃海任務で使用される装備品を見学し、乗員の説明に興味津々な表情で聞き入っていた。

艦内では、艦長が指示を出す艦橋のほか、食堂、浴室といった生活空間も見学することができ、効率的な設備の配置や清潔で機能的な環境に、「船の中にこんなに多くの設備があると知って驚いた」「狭いけれど、みんなで生活するのは楽しそう」といった声が聞かれた。

次に、一回り小さい掃海艇「たかしま」と「いずしま」を見学した。掃海艦以上にコンパクトで洗練された艇内の環境と、磁気反応型機雷に対処できる木造の船体を見て、「こんなに小さな船で重大な任務をこなしているとは」と、掃海艇の持つ能力に驚嘆していた。

浜松所は、今後も艦艇見学の機会を活用し、多くの若者に自衛隊への理解を深めてもらえるよう尽力していく。

## 空自の輸送機で大空へ C-2体験搭乘

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・田代裕久1等陸佐）は2月15日（土）、航空自衛隊入間基地（埼玉県狭山市）で行われたC-2輸送機体験搭乘に参加者を引率した。

当日は天候にも恵まれ、小学生から高校生とその保護者など14人が参加した。入間基地に到着後、引率の静岡地本隊員から同基地やC-2輸送機の概要を聞き、参加者は熱心に耳を傾けていた。

また、待機場所の空輸ターミナルからは駐機しているC-2輸送機や退役を記念した特別塗装が施されたC-1輸送機などを見ることができ、「大きい」「かっこいい」といった声が上がっていた。

その後、参加者は受付と搭乗前教育を受け、C-2輸送機に乗り込んだ。機体の壁に沿って内側を向くように設置された座席に座り、安全ベルトを装着すると、機体は轟音を立てて勢いよく飛び立った。

入間基地上空を約20分間飛行し、参加者は輸送機の安定した乗り心地を体感したり、窓から地上の景色を眺めたりして楽しんでいた。

静岡地本は、引き続きさまざまなイベントを通じて自衛隊の魅力を発信していく。

